

「もの忘れ外来受診患者におけるバウムテストの特徴」

1. 研究の対象

西暦 2023 年 8 月 1 日から西暦 2025 年 7 月 31 日までに南和歌山医療センター認知症疾患医療センターもの忘れ外来を受診され医師による診察を受けた方のうち、診療の一環としてこちらの相談室にてバウムテストを含む認知機能検査を受検された方。

2. 研究目的・方法

もの忘れ外来において、認知機能査定の補助としてバウムテストを実施する有用性を検討することを目的とします。認知機能検査結果（HDS-R）による認知機能の状態を指標に、バウムテストの結果を個人が特定できないようデータ化した上で統計処理を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：認知機能検査結果（HDS-R）、バウムテスト（指標化した結果）、老年期うつ病評価尺度等（Geriatric depression scale 15 ; GDS15）結果

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立病院機構 南和歌山医療センター 認知症疾患医療センター

研究責任者： 心理療法士 濱仲 直子

〒646-8558 和歌山県田辺市たきない町 27-1

TEL : 0739-26-7050